

自治体の課題、現状

本市の部活動は「運動部活動の方針（ガイドライン）」に基づき適切に実施されている。一方、少子化等の影響により、団体種目ではチーム編成に苦慮している学校が増えている。学校からは、一人で顧問することや、自分の競技経験のない部活動を担当する等、部活動に関わる教師の負担感も報告されている。

また、校舎の老朽化に伴う改修工事に伴い、校庭やテニスコート等の使用が制限され、活動場所の確保が課題となっている。今後、改修工事対象校が増えるため、地域移行の検討とともに、スポーツ、文化芸術活動の活動場所確保の課題解決に取り組んでいる。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	65 校（うち中等教育学校1校）	全生徒数	約25,189 人
域内の部活動数	966 部（運動部）	実施した地域クラブ数	3 クラブ
全体の指導者数	12 人	全体の運営スタッフ数	3 人
主な運営団体	民間事業者（Sports&Works）		
主な種目	ソフトテニス・陸上・ソフトボール		
平均的な活動回数	4回/月	参加会費	0 円/年

地域移行関連の取組、成果

・民間スポーツ事業者による運営管理体制の整備

部活動支援ツールを活用し、学校顧問を介さず保護者へ直接連絡できる体制を整えるとともに全体連絡方法についても確立できた。

・指導者の質の保障・量の確保

それぞれの部活動に毎回 2 名ずつ配置、**1 名の指導者は指導者資格保有者する高いレベルの指導を行えるものを配置した。**

・内容の充実

プロ経験者又は社会人競技経験者を実施期間中に 2 回派遣した。

運営体制図

